

【NRCLレポート】 パソコン・スマートフォンなどの情報機器調査

2017年2月調査結果



日本リサーチセンター

Member of Gallup International Association

東京都中央区日本橋本町2-7-1

TEL:03-6667-3400 (代) FAX:03-6667-3470

<http://www.nrc.co.jp/>

◆NRCLレポート

全国15～79才男女1,200名を対象に、2017年2月に「パソコン・スマートフォンなどの情報機器」の調査を実施しました。本調査はインターネット調査ではなく、調査員による訪問留置法で実施しており、パソコンやインターネットを利用していない人も対象に含んでパソコンやスマートフォンの利用率を調べることができます。

本レポートは、2014年から毎年実施しており、時系列変化に注目して分析しました。

◆調査項目

1. 情報機器の利用率
2. インターネットで行っていること

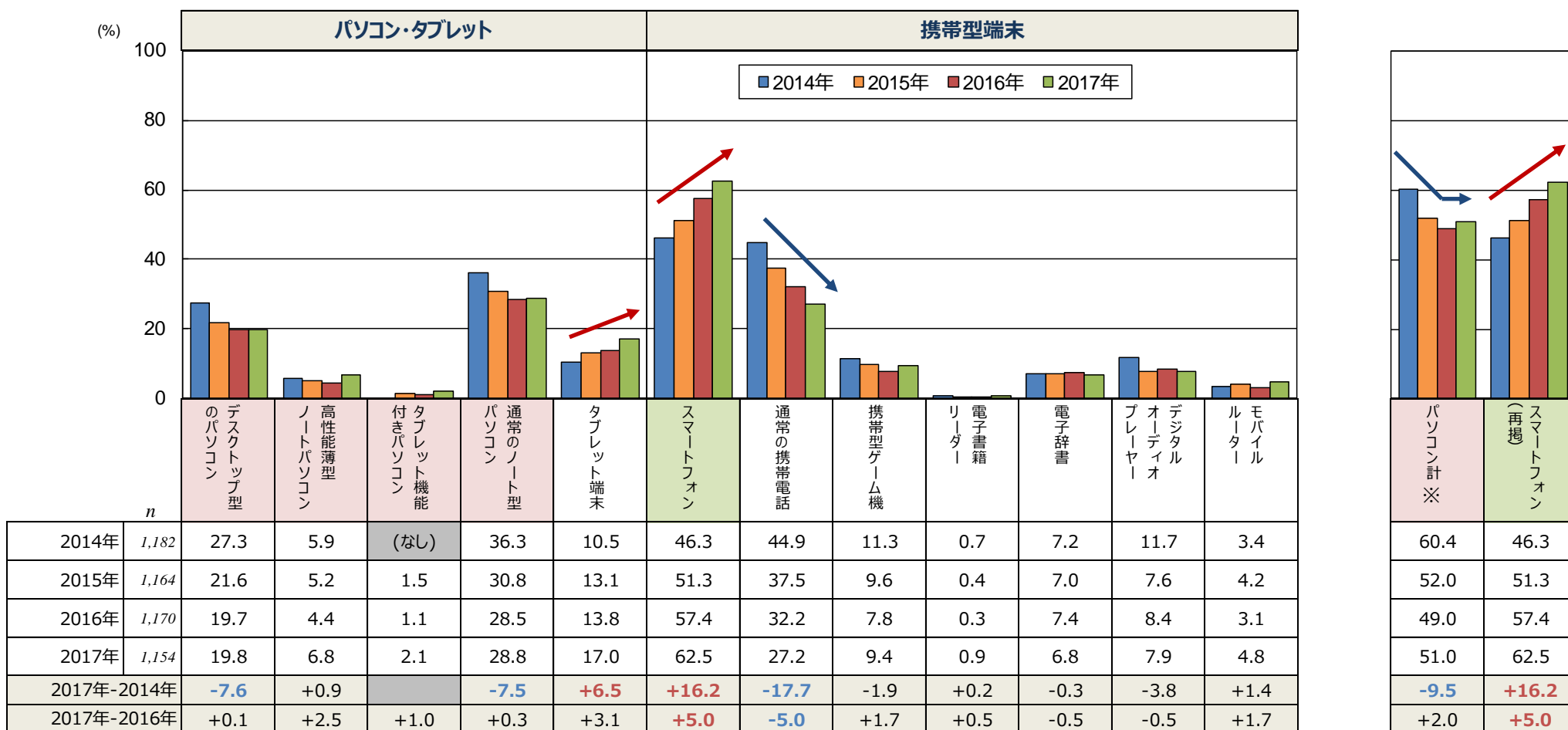
◆主な結果は以下の通りです

- 「パソコン」の利用率は51%、2014年→2016年は11%減少したが、2016年→2017年はほぼ横ばいとなった。
- 「スマートフォン」の利用率が2014年46%→2015年51%→2016年57%→2017年62%と増加した。一方、「通常の携帯電話」は27%で、2014年より18p減少。
- 「コンパクトデジタルカメラ」と「固定電話」の利用率は、2014年→2017年で10%以上減少。
- インターネットで行っていることをみると、スマートフォンでは「路線検索」「地図やルート検索、GPSナビ」は2016年→2017年で10%以上増加。
- インターネットの利用についてパソコンとスマートフォンを比べると、ほとんどの項目でスマートフォンの方が高い。

- ◆ **情報機器**の個人利用率について、2014年から2017年まで毎年2月に調査を実施してきた。
- ◆ **パソコン・タブレット**では、「パソコン計※」が、2014年→2016年は11%減少したが、2016年→2017年はほぼ横ばいとなった。「タブレット」は2014年10%→2017年17%と少しずつだが増加トレンドが続いている。
- ◆ **携帯型端末**では、「通常の携帯電話」は2014年45%→2015年38%→2016年32%→2017年27%と減少し、「スマートフォン」は46%→51%→57%→62%と増加。2014年は拮抗していたが、2015年以降は両者の差が毎年広がってきている。

■ 時系列の比較

あなたが現在、ご利用になっている機器を、すべてお知らせください（無回答者除く：複数回答）



※「パソコン計」とは、「デスクトップ型のパソコン」「高性能薄型ノートパソコン」「タブレット機能付きパソコン」「通常のノート型のパソコン」のいずれかを利用している割合
2014年は「ネットブック」を含む

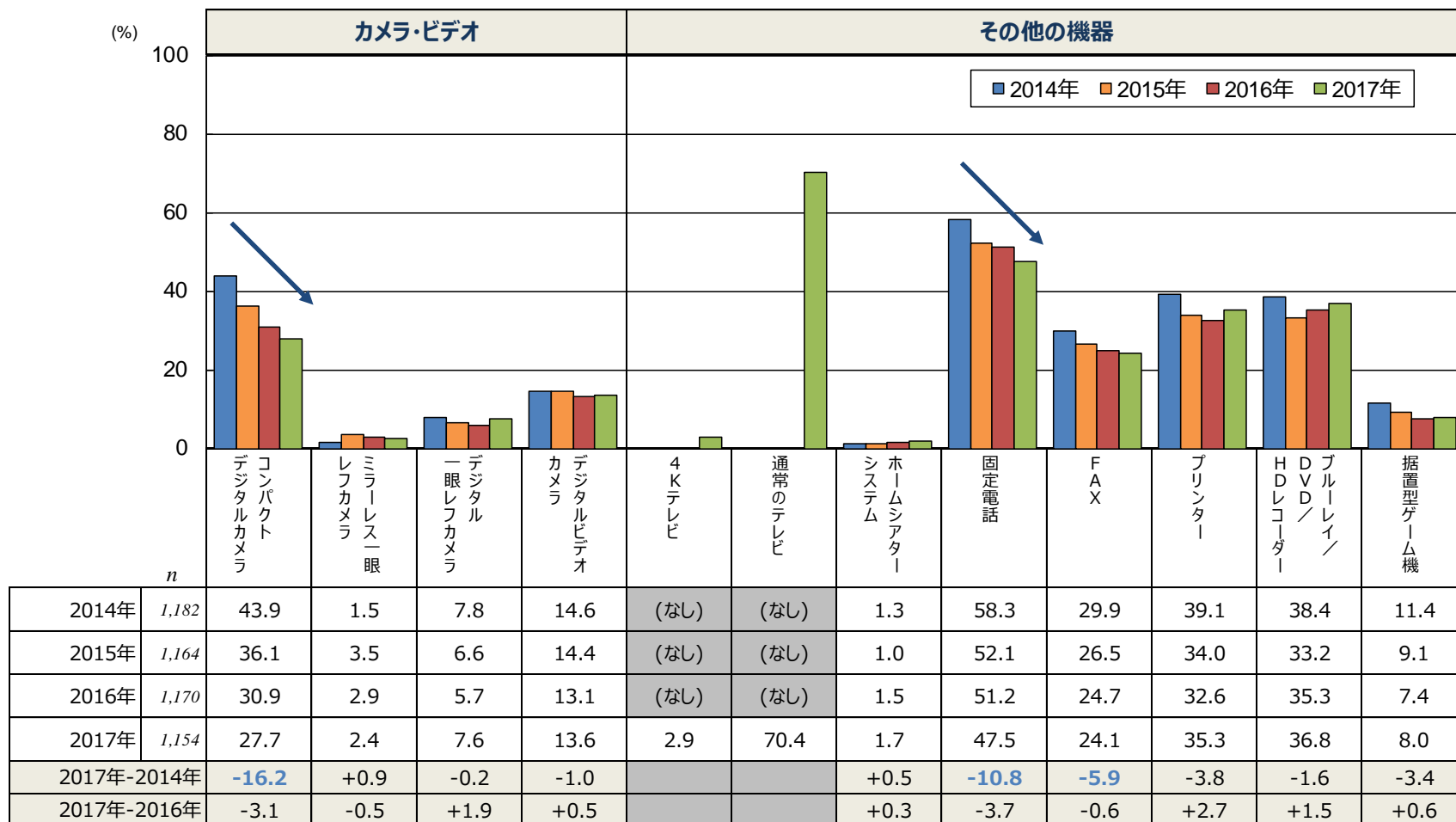
(%)

(%)

- ◆ **カメラ・ビデオ**では、「コンパクトデジタルカメラ」が2014年44%→2015年36%→2016年31%→2017年28%と3年間で16%の減少。それ以外の「カメラ・ビデオ」では大きな変化はみられない。
- ◆ **その他の機器**では、「固定電話」は、2014年より10p以上減少し2017年は5割を切った。また2017年に聴取した「4Kテレビ」は3%とまだ低い水準にある。

■ 時系列の比較

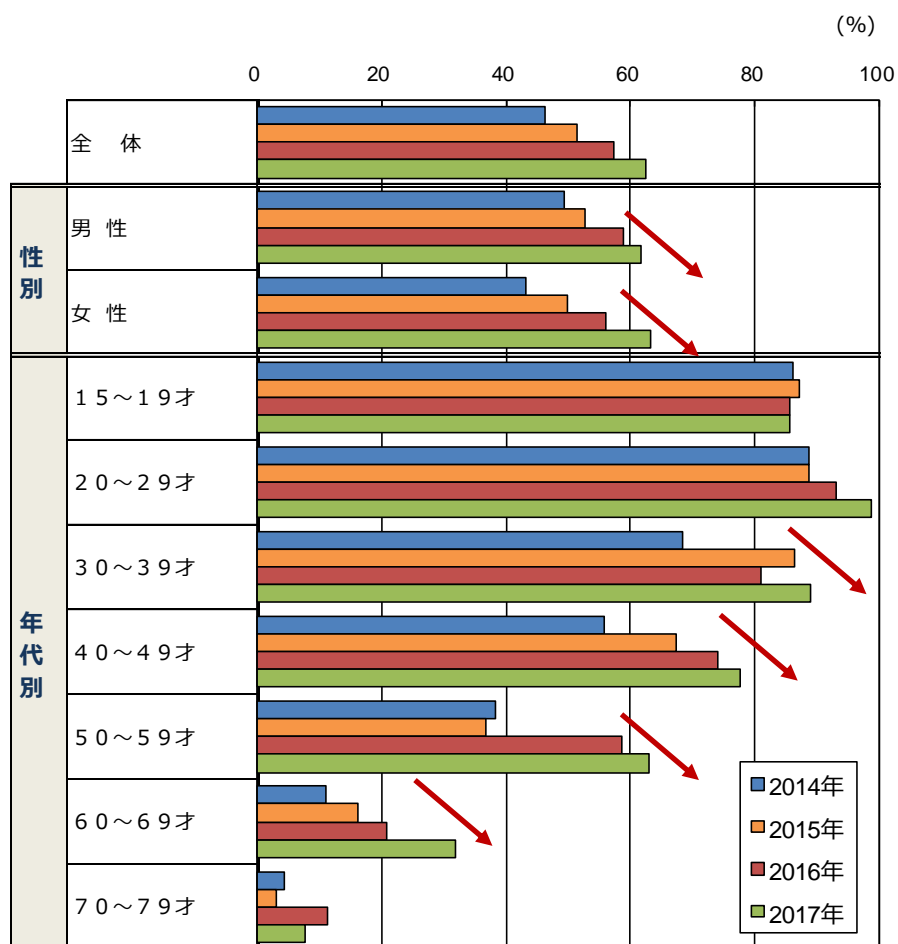
あなたが現在、ご利用になっている機器を、すべてお知らせください（無回答者除く：複数回答）



(%)

- ◆「スマートフォン」の利用率について、性別・年代別でみてみる。
- ◆性別で見ると、2014年は男性は女性より6%高かったが、2017年は男性62%、女性63%とほぼ同じ。
- ◆年代別で見ると、15~49才までは70%を越えているが、60代は32%、70代では8%であり年代の差が大きい。
- ◆時系列変化では、2014年→2017年で男女とも順調に増加。年代別では30-60代の増加が20p以上と大きい。

■ 時系列（性別／年代別）：スマートフォン利用率

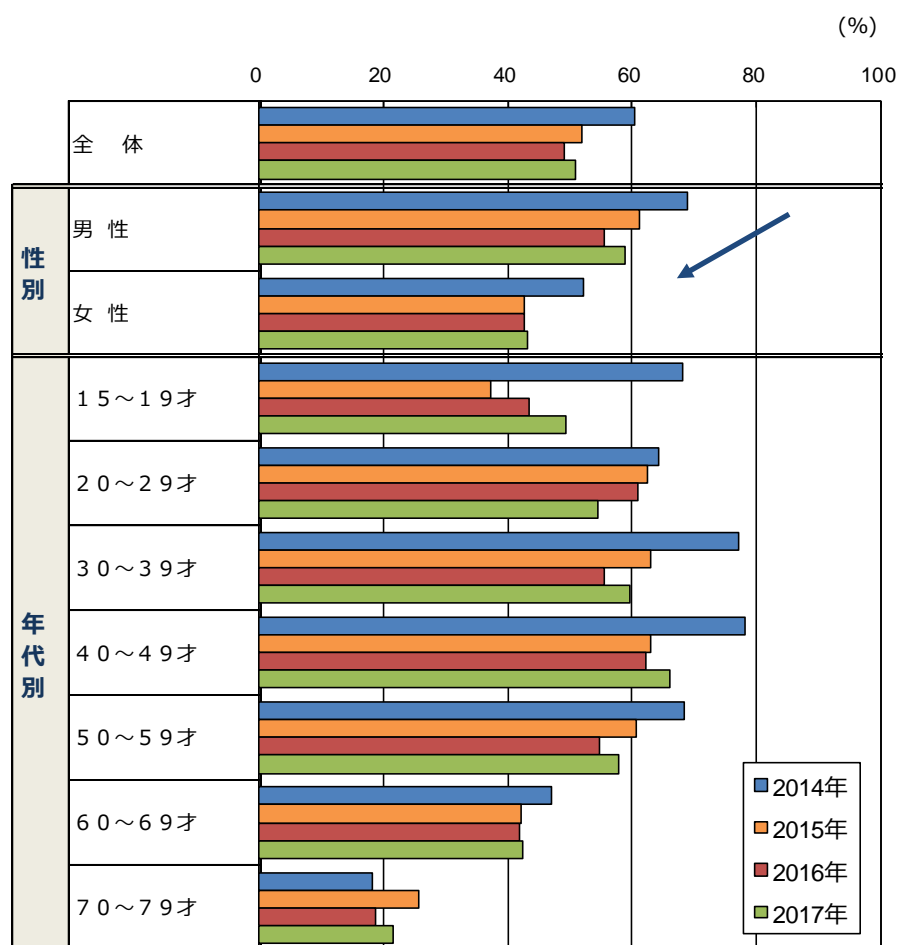


n				%				2014年と 2017年の 差	2016年と 2017年の 差
2014年	2015年	2016年	2017年	2014年	2015年	2016年	2017年		
1,182	1,164	1,170	1,154	46.3	51.3	57.4	62.5	+16.2	+5.0
583	583	574	569	49.4	52.7	58.9	61.7	+12.3	+2.8
599	581	596	585	43.2	49.9	56.0	63.2	+20.0	+7.2
72	70	69	69	86.1	87.1	85.5	85.5	-0.6	0.0
151	141	146	143	88.7	88.7	93.2	98.6	+9.9	+5.5
196	192	189	191	68.4	86.5	81.0	89.0	+20.6	+8.1
210	208	211	206	55.7	67.3	73.9	77.7	+22.0	+3.7
180	180	179	178	38.3	36.7	58.7	62.9	+24.6	+4.3
215	209	215	210	11.2	16.3	20.9	31.9	+20.7	+11.0
158	164	161	157	4.4	3.0	11.2	7.6	+3.2	-3.5

(注)
全体より
5%以上
高い
全体より
5%以上
低い

- ◆「デスクトップ型のパソコン」「高性能薄型ノートパソコン」「タブレット機能付きパソコン」「通常のノート型のパソコン」のいずれかの利用率を「パソコン計」として、性別・年代別でみる。(※2014年2月は「ネットブック」も含む)
- ◆性別で見ると、2017年は男性59%、女性43%で男性の方が利用率が高い。
- ◆年代別では、30-50代の利用率が高い。2014年からの変化で見ると15才～59才では10p以上減少したが、2016年→2017年でみると20代以外は増加に転じている。

■ 時系列（性別／年代別）：パソコン計利用率

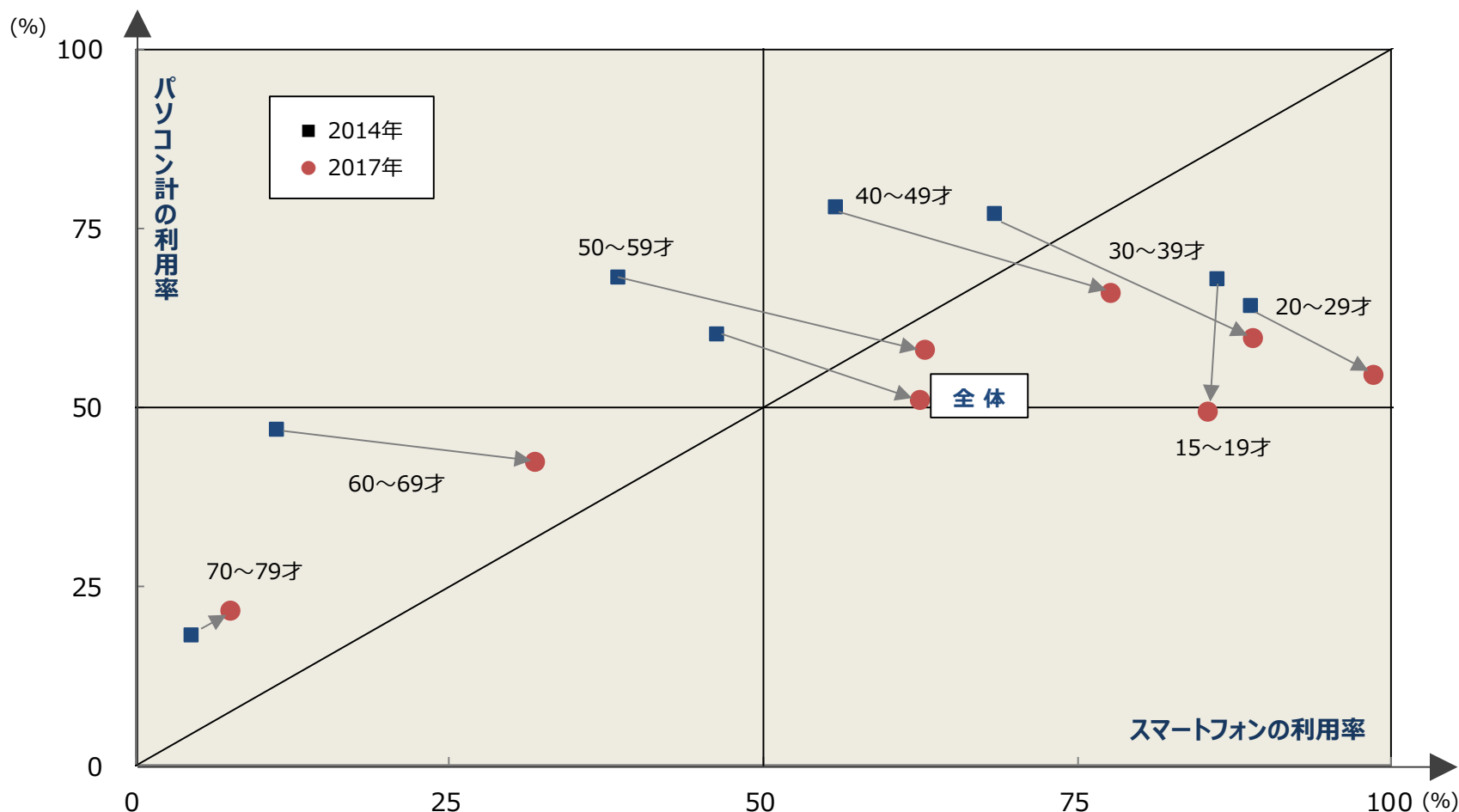


n				%				2014年と 2017年の 差	2016年と 2017年の 差
2014年	2015年	2016年	2017年	2014年	2015年	2016年	2017年		
1,182	1,164	1,170	1,154	60.4	52.0	49.0	51.0	-9.5	+2.0
583	583	574	569	69.0	61.2	55.4	58.9	-10.1	+3.5
599	581	596	585	52.1	42.7	42.8	43.2	-8.8	+0.5
72	70	69	69	68.1	37.1	43.5	49.3	-18.8	+5.8
151	141	146	143	64.2	62.4	61.0	54.5	-9.7	-6.4
196	192	189	191	77.0	63.0	55.6	59.7	-17.4	+4.1
210	208	211	206	78.1	63.0	62.1	66.0	-12.1	+3.9
180	180	179	178	68.3	60.6	54.7	57.9	-10.5	+3.1
215	209	215	210	47.0	42.1	41.9	42.4	-4.6	+0.5
158	164	161	157	18.4	25.6	18.6	21.7	+3.3	+3.0

(注)
全体より
5%以上
高い
全体より
5%以上
低い

- ◆横に「スマートフォン」、縦に「パソコン計」として、2014年と2017年の全体と年代別の利用率をプロットする。
- ◆全体では、2014年は「パソコン計」60%が「スマートフォン」46%の利用率を上回っていたが、2017年は「スマートフォン」が増加して「パソコン計」を上回っている（「パソコン計」51% < 「スマートフォン」62%）。
- ◆30-50代では2014年はパソコンが優位だったが、この3年間で「スマートフォン」が増加し、2017年は「パソコン計」の利用率を上回った。しかし60代以上は依然として「パソコン計」が、「スマートフォン」を上回る。

■ スマートフォン vs パソコンの利用率



- ◆ 世帯財を中心に自宅で持っている機器の保有率と個人の利用率を比較してみる。
- ◆ 「パソコン計」の世帯保有率は、2014年78%→2016年69%と減少していたが、2017年は72%と減少が止まった。
- ◆ 「ブルーレイ/DVD/HDレコーダー」は、2014年より世帯保有率が5p以上増加している。
- ◆ 「デジカメ計」は世帯保有率も個人利用率も2014年より減少傾向にある。
- ◆ 「固定電話」は世帯保有率はあまり減っていないが、個人利用率は2014年より11p減少している。

■ 時系列の比較

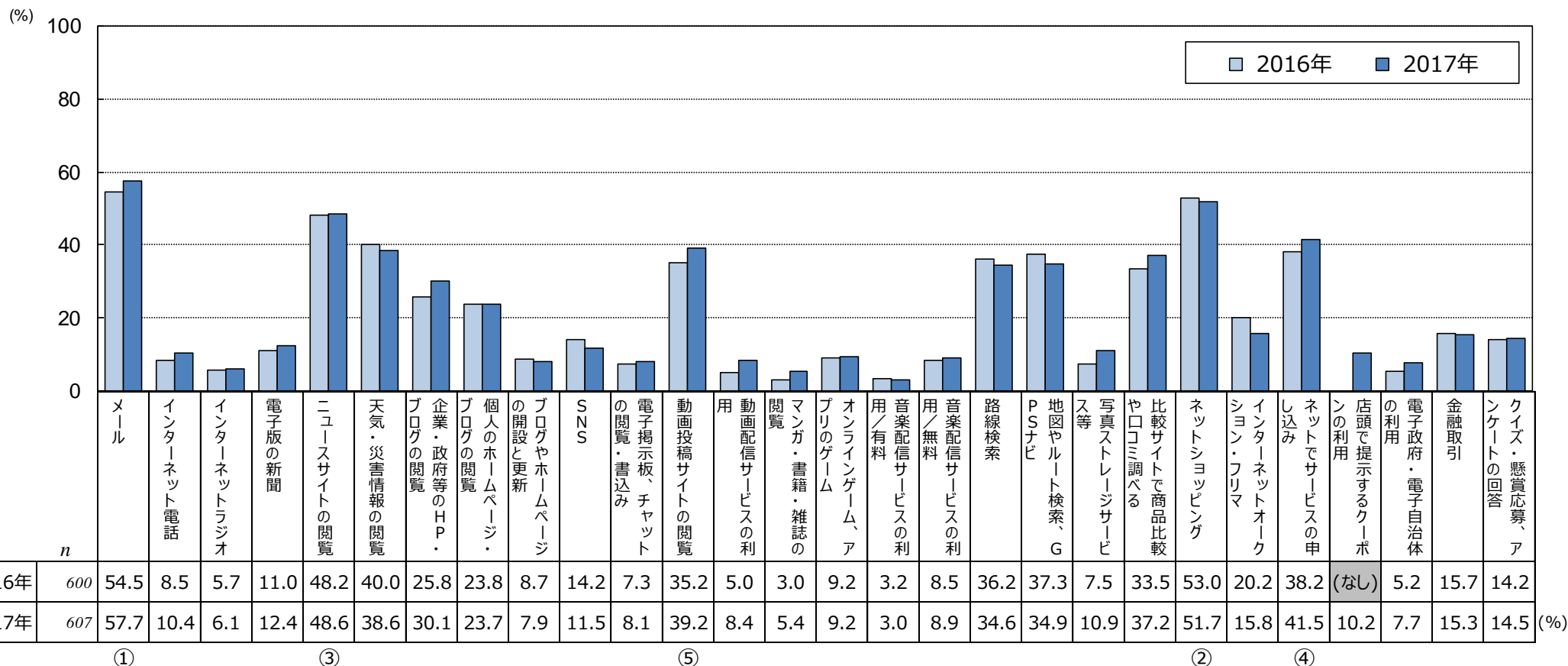
お家で、お持ちになっている機器をすべてお知らせください（無回答者除く：複数回答）

		<i>n</i>	パソコン計	デジカメ計 (コンパクト+ミラーレス+一眼)	固定電話	FAX	プリンター	ブルーレイ/DVD/HDレコーダー	据置型ゲーム機	ホームシアター
① 世帯保有率	2014年	1,193	77.7	69.7	77.7	50.9	60.3	50.8	27.6	1.8
	2015年	1,194	73.2	65.0	74.9	46.5	55.7	49.0	21.9	1.8
	2016年	1,192	68.5	63.8	76.0	45.8	53.9	50.8	22.8	2.3
	2017年	1,192	72.3	61.8	75.8	47.0	58.4	56.6	25.4	2.4
② 個人利用率 (再掲)	2014年	1,182	60.4	48.2	58.3	29.9	39.1	38.4	11.4	1.3
	2015年	1,164	52.0	40.5	52.1	26.5	34.0	33.2	9.1	1.0
	2016年	1,170	49.0	35.6	51.2	24.7	32.6	35.3	7.4	1.5
	2017年	1,154	51.0	33.4	47.5	24.1	35.3	36.8	8.0	1.7

- ◆パソコンを利用してインターネットで行っていることについては、「メール」58%、「ネットショッピング」52%とともに5割を超える。
- ◆続いて、「ニュースサイトの閲覧」49%、「ネットでサービスの申し込み」42%、「動画投稿サイト」39%が続く。
- ◆2016年と比べると、大きく増加/減少したものはない。

■パソコン(2016、2017年)

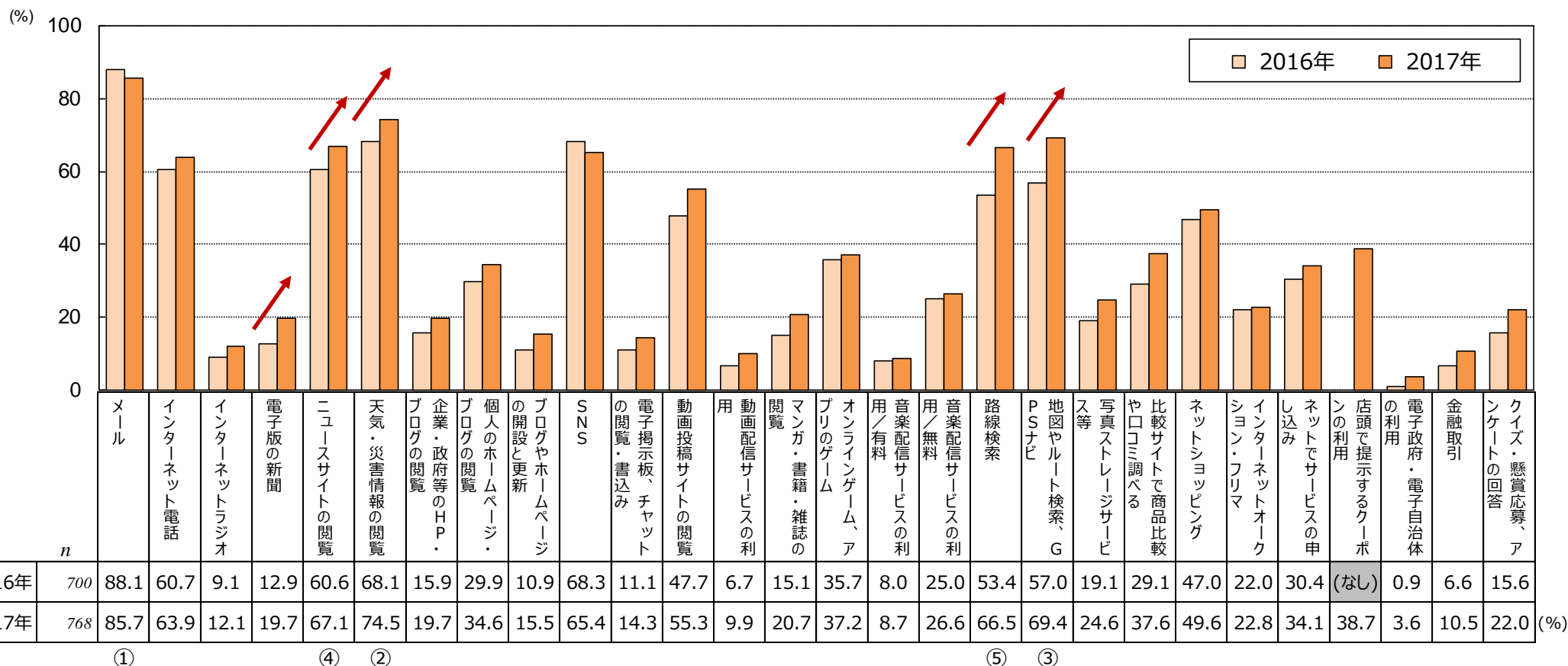
インターネットを利用して、どのようなことを行っていますか。(パソコンのネット利用者ベース:複数回答)



- ◆スマートフォンを利用してインターネットで行っていることについては、「メール」86%が一番多い。
- ◆続いて、「天気・災害情報の閲覧」75%と「地図やルート検索、GPSナビ」69%が多い。
- ◆パソコンと比べて5割を超えるものが多く、スマートフォンの方がネット利用率が高く、また多様であることがわかる。
- ◆2016年からは、「メール」「SNS」以外は増加し、特に「路線検索」「地図やルート検索、GPSナビ」は10%以上増加した。
- ◆また「電子版の新聞」「ニュースサイトの閲覧」「天気・災害情報の閲覧」などニュースに関する利用が5%以上増加した。

■スマートフォン(2016、2017年)

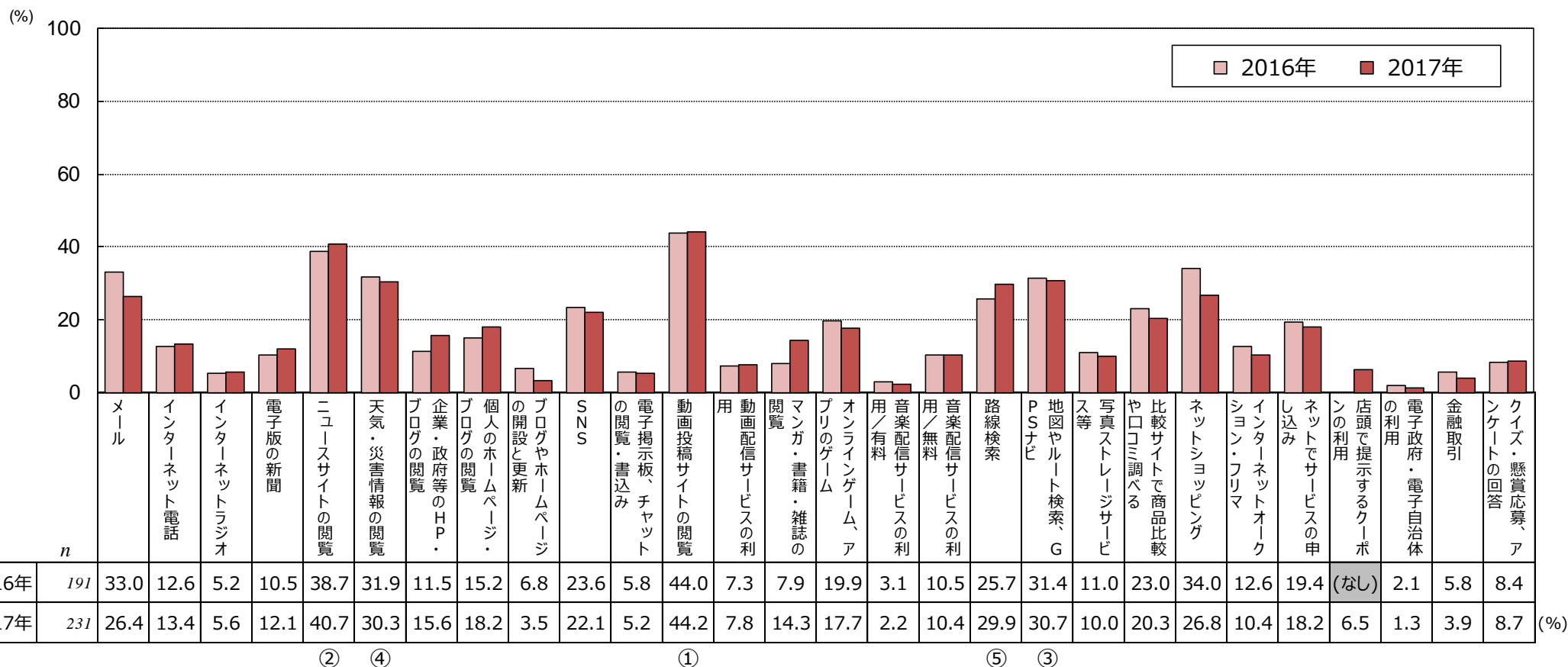
インターネットを利用して、どのようなことを行っていますか。(スマートフォンのネット利用者ベース:複数回答)



- ◆タブレットを利用してインターネットで行っていることについては、「動画投稿サイトの閲覧」44%が一番多い。
- ◆続いて、「ニュースサイトの閲覧」41%、「地図やルート検索、GPSナビ」31%、「天気・災害情報の閲覧」30%、「路線検索」30%が3割以上で多い。

■タブレット(2016、2017年)

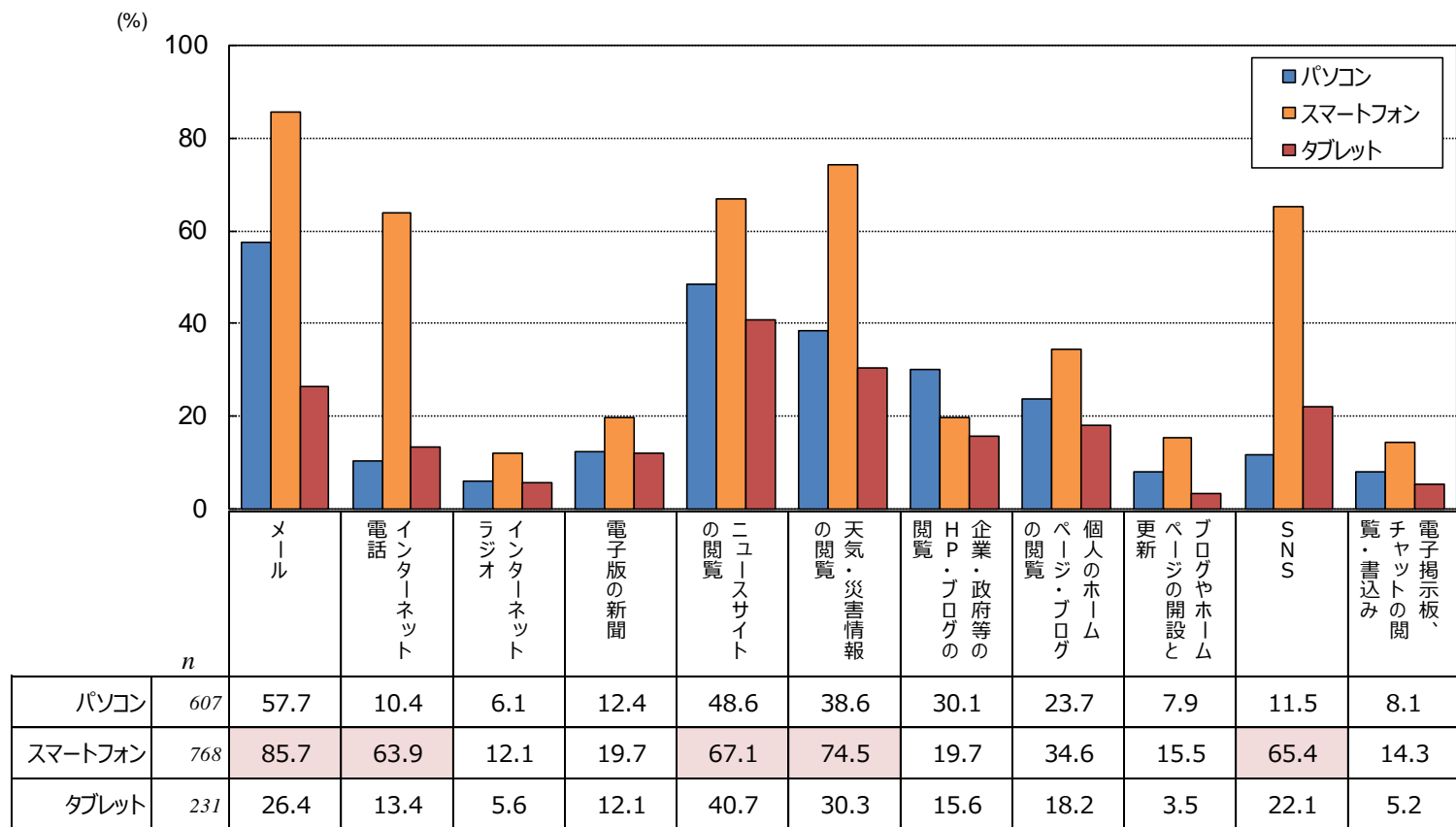
インターネットを利用して、どのようなことを行っていますか。(タブレットのネット利用者ベース:複数回答)



- ◆ パソコン、スマートフォン、タブレットの3つ機器についてインターネットで行っていることを比較してみた。
- ◆ 「メール」から「電子掲示板、チャットの閲覧・書込み」までの項目についてみると、「メール」「インターネット電話」「ニュースサイトの閲覧」「天気・災害情報の閲覧」「SNS」はスマートフォンの利用率が、パソコンやタブレットより10p以上多い。

■ デバイス別(2017年)

インターネットを利用して、どのようなことを行っていますか。(各デバイスのネット利用者ベース: 複数回答)



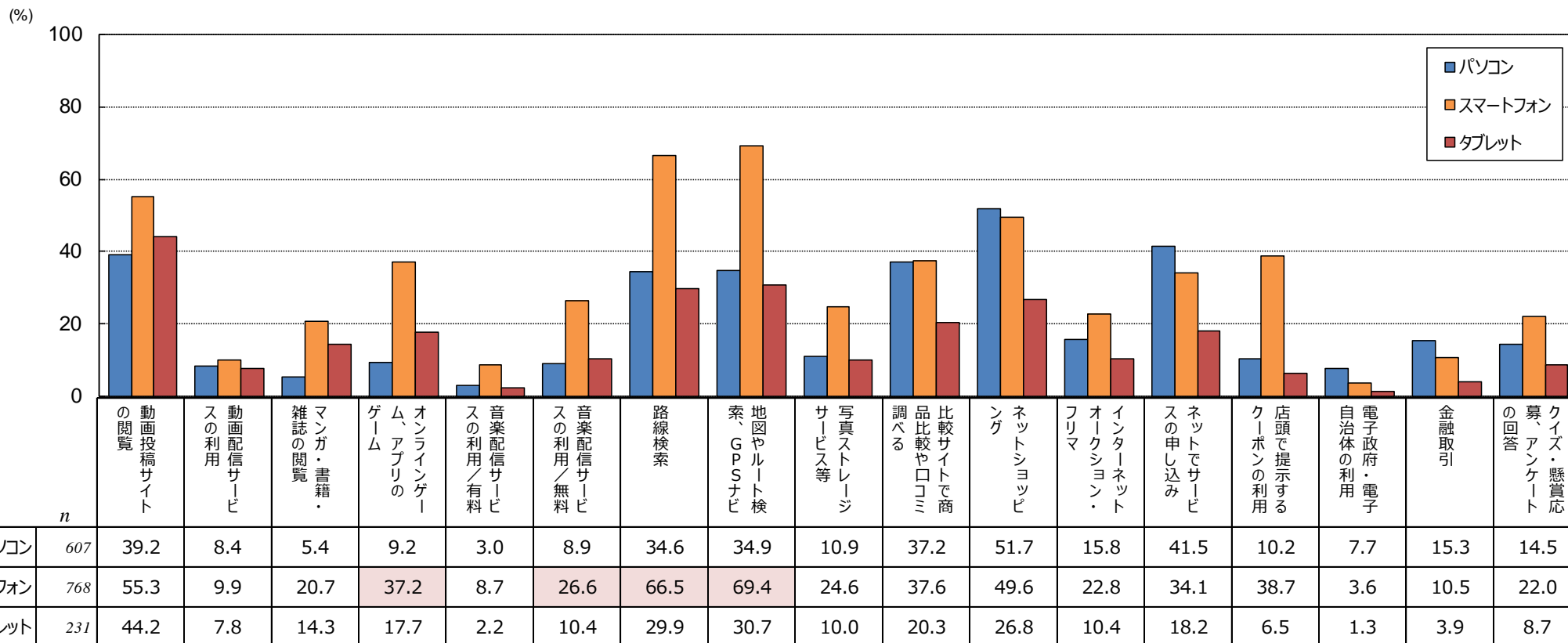
は3つの中で利用率が目立って高いもの

(%)

- ◆「オンラインゲーム、アプリのゲーム」「音楽・配信サービス（無料）利用」「路線検索」「地図やルート検索、GPSナビ」は、スマートフォンの利用率が、パソコンやタブレットより10p以上多い。
- ◆一方、「ネットショッピング」「ネットでサービスの申し込み」「金融取引」はパソコンがスマートフォンを上回っている。
- ◆タブレットでは、パソコン、スマートフォンと比べて目立って多いものはない。

■ デバイス別(2017年)

インターネットを利用して、どのようなことを行っていますか。(各デバイスのネット利用者ベース：複数回答)



は3つの中で利用率が目立って高いもの

◆調査方法

- NOS（日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ）
- 調査員による個別訪問留置調査

◆調査対象

- 全国の15～79歳の男女個人 1,200人

※エリア・都市規模と性・年代構成は、日本の人口構成比に合わせて割付を行っている

◆抽出方法

- 毎月200地点を抽出、住宅地図データベースから世帯を抽出し個人を割当て

◆調査期間

- 2014/2/5～2/17
- 2015/2/4～2/16
- 2016/2/3～2/15
- 2017/2/2～2/14

NOS（日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ）について

調査パネルを使ってインターネットで簡単に情報収集できる時代になりましたが、NOSでは、45年以上にわたって、

①調査員を使った訪問留置、②パネルモニターではない毎回抽出方式で調査を継続しており、代表性のある信頼の高いデータを提供しております。

NOSは、毎月1回定期的に実施する乗り合い形式（オムニバス）の全国調査です。

毎回ランダムに決められた200地点にて、対象となる方に調査員が協力を依頼してアンケートを回収します。

性年代構成を日本の人口構成比に合わせているため、全体結果は日本を代表する意見としてそのままご覧になることができます。

インターネット調査では、回収が難しい60代以上の対象者やインターネットを使っていない人の実態や意識を分析するのにも有用な手法と言えます。

《 引用・転載時のお願い 》

本レポートの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先：日本リサーチセンター広報室 メール：information@nrc.co.jp

**掲載では必ず当社クレジットを明記していただき、
調査結果のグラフ・表をご利用の場合も、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。**